## 検査又は調査の結果(2024年度)

検査等年月日	鉱種	操業状態	検査等内容	結果	措置内容
4月11日~4月12日	非金属	稼行	鉱山保安法第41条第1項に基づく報告による災害特別検査を行った。	不適	<ul><li>発生した災害について、発生原因を究明し、災害発生前の保安確保措置の評価と再発防止対策を</li></ul>
					講ずるよう指導した。
4月24日~4月25日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に	不谙	保安業務の実施(災害の現況調査、作業手順書作成、保安パトロールと保安教育の記録、回転体力
.,,,=.,,		13.13	評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作		バー)について指導した。
					ハールこういて日寺した。
			物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。	<b>.</b>	
5月15日~5月16日	金属	休止	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	不適	[法令手続き(工事計画変更に係る使用前検査、使用開始届)について指導した。
			鉱山保安法第47条第1項に基づき、集積場の保守管理状況等について立入検査を行った。		
5月30日~5月31日	金属	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	不適	「保安業務の実施(坑廃水の処理)について指導した。
	金属	休止	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。		
6月5日~6月7日				適	
6月5日~6月7日	金属	休止	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	適	
6月5日~6月7日	金属	休止	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	不適	[法令手続き(工事計画の変更届)について指導した。
6月10日~6月11日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に		日保安業務の実施(施設廃止届の未提出)について指導した。
071001307110	1001	你们」		1,10	「休女未初の夫地、他の民正曲の不正山ハニラい・C旧寺じた。
			評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作		
			物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。		
6月12日~6月14日	金属	休止	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	適	
6月13日	金属	廃止	金属鉱業等鉱害対策特別措置法第36条第2項に基づき、鉱害防止業務の実施状況等について立入		
07 13 1	亚馬	光工		1,10	* 業務規程及び鉱害防止事業計画の見直しについて指導した。
			検査を行った。		
6月19日~6月20日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に	不適	
			評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作		検、保安規程)について指導した。
			物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。		
6月20日~6月21日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に	不溶	[ 保安業務の実施(回転体カバー、作業床、電気配線、電気工作物の点検結果の確認、現況調査の措
0月20日~0月21日	10次1	作练1」			
			評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作		置、保安機構図)について指導した。
			物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。		
6月20日~6月21日	金属	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	適	
6月26日	非金属	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	適	
07200			金属鉱業等鉱害対策特別措置法第36条第2項に基づき、鉱害防止業務の実施状況等について立入		
6月28日	金属	廃止		个週	1 業務規程の見直しについて指導した。
			検査を行った。		
7月9日~7月10日	石灰石	休止	鉱山保安法第47条第1項に基づき、集積場の保守管理状況等について立入検査を行った。	不適	[【保安業務の実施(巡視点検)について指導した。
7月16日~7月17日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に	不谙	保安業務の実施(回転体カバー、作業手順書の実施、粉じん作業場の掲示)について指導した。
771.00 771.70	17/1	ואוו	評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作		
			物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。		
7月17日~7月18日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に		🛮  保安業務の実施(粉じん作業場の掲示、休止施設の立入禁止、保安管理体制機構図の整備、新規 📗
			評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作		採用者教育の実施、作業手順書の作成)について指導した。
			物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。		
7月17日~7月18日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	不谙	【保安業務の実施(現状調査の実施、集積場の点検、坑廃水の処理)について指導した。
75174 - 75104	11/2/11	ተል 1 1		-1-700	は、大大物の大池、大阪物の木は、、地方がのたない。
			鉱山保安法第47条第1項に基づき、集積場の保守管理状況等について立入検査を行った。		
7月18日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	適	
7月24日	金属	休止	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	適	
7月24日~7月25日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に		1 保安業務の実施(粉じん作業場の掲示)について指導した。
77240 - 77250	11/2/11	ተል 1 1		-1-700	は 休女未初の天地(初し)0 FF未物の間がパニンして日寺した。
			評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作		
			物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。		
7月24日~7月25日	金属	休止	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	適	
7月25日	金属	休止	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	適	
	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に		
7月25日~7月26日	<b>石灰石</b>	11/8/17		適	
			評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作		
			物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。		
7月26日	金属	廃止	金属鉱業等鉱害対策特別措置法第36条第2項に基づき、鉱害防止業務の実施状況等について立入	不適	1 業務規程の見直しについて指導した。
		<i></i>	検査を行った。	. ~	3,3,3,3,123,3,0,120
78210	金属	廃止		7.'☆	「業務規程の見直しについて指導した。
7月31日	並禺	発止	金属鉱業等鉱害対策特別措置法第36条第2項に基づき、鉱害防止業務の実施状況等について立入	小迴	未物況性の見直しに プいて拍導した。
			検査を行った。		
8月19日~8月20日	石油・天然ガス	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に		
			評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作		
			物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。		
8月20日~8月21日	石油・天然ガス	种仁	鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に	適	
8月20日~8月21日	石油・大然ル人	13/13	鉱田床女広寿4/末寿1項に奉うさ、境が調査により刊明した床女を音りの安国を輸来性目が過止に	旭	
			評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作		
			物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。		
8月27日~8月28日	非金属	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に	不適	[【保安業務の実施(粉じん作業場の掲示、火気使用禁止措置、ベルトコンベアのカバー、作業通路整備]
	· · — · ·		評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作		等)について指導した。
1			物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。	1	177-17 (1147-10)
08000 08000		104二		·**	
8月28日~8月29日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に		日保安業務の実施(粉じん作業場の掲示、粉じん飛散防止、作業通路整備、電気工作物の維持管理、
I			評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作	1	廃止施設の立入禁止)について指導した。
1			物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。	1	
			100 100 100 100 100 100 100 100 100 100	•	-

9月4日~9月5日	金属	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、集積場の保守管理状況等について立入検査を行った。	適	
9月12日	金属	休止	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	適	
9月24日~9月26日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第2項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に		保安業務の実施(ベルトコンベアのカバー、作業通路整備、電気工作物の維持管理)について指導し
			評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作		た。
			物等の技術基準が遵守されているか、並びに鉱山の作業場における粉じんの基準適合及び保守管		
			理状況について立入検査を行った。		
9月24日~9月26日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山の作業場における粉じんの基準適合及び保守管理状況に	適	
			ついて立入検査を行った。		
9月26日~9月27日	金属	休止	鉱山保安法第47条第1項に基づき、集積場の保守管理状況等について立入検査を行った。		保安業務の実施(集積場の維持・管理)について指導した。
10月9日~10月11日	金属	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	適	
10月9日~10月11日	金属	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの鉱煙が基準に適合しているか立入検査を行った。	適	
10月15日~10月16日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第2項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権が適正に評		保安業務の実施(ベルトコンベアのカバー、作業場の手すり、電気工作物の維持管理、作業手順書の
			価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作物		整備、保安規定に基づく機械、施設点検の実施頻度等、現況調査における残留リスク)について指導
			等の技術基準が遵守されているか、並びに鉱山の作業場における粉じんの基準適合及び保守管理		した。
10.01.50		14.7-	状況について立入検査を行った。	144	
10月15日~10月16日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山の作業場における粉じんの基準適合及び保守管理状況に	適	
10月23日	金属	廃止	ついて立入検査を行った。   金属鉱業等鉱害対策特別措置法第36条第2項に基づき、鉱害防止業務の実施状況等について立入	- x '⇔	  業務規程の見直しについて指導した。
10 H 23 H	立周	発止	立属弧系守弧音列束付別指直広第30末第2項に至りさ、弧音例正案例の美胞仏が守について立入   検査を行った。	小迴	未依然性の元直しに プル・C相等した。
10月24日~10月25日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、集積場の保守管理状況等について立入検査を行った。	谪	
11月6日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、集積場の保守管理状況等について立入検査を行った。	Į	  保安業務の実施(集積場及び場内水排除施設の維持・管理)及び法令手続き(使用開始届)につい
11700	1001	13/11		-1.700	大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学   大学
11月7日~11月8日	金属	休止	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	適	
11月7日~11月8日	金属	休止	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	適	
11月14日	金属	休止			業務規程の見直しについて指導した。
			検査を行った。	. ~	
11月14日	金属	休止	金属鉱業等鉱害対策特別措置法第36条第2項に基づき、鉱害防止業務の実施状況等について立入	不適	業務規程の見直しについて指導した。
			検査を行った。		
11月14日~11月15日	金属	休止	鉱山保安法第47条第1項に基づき、集積場の保守管理状況等について立入検査を行った。	不適	保安業務の実施(水路及び排水路の維持・管理)について指導した。
11月14日~11月15日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、集積場の保守管理状況等について立入検査を行った。		保安業務の実施(排水機能の現状調査)について指導した。
11月18日~11月19日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に	不適	保安業務の実施(坑内と坑外間における連絡手段、粉じん作業場に係る掲示)について指導した。
			評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作		
			物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。		
11月22日	金属	廃止	金属鉱業等鉱害対策特別措置法第36条第2項に基づき、鉱害防止業務の実施状況等について立入	不適	業務規程の見直しについて指導した。
			検査を行った。		
11月25日~11月26日	非金属	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に		法令手続き(特定施設の廃止届出)について指導した。
			評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作		
11 8 07 8	石灰石	/+ .L	物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。  鉱山保安法第47条第1項に基づき、集積場の保守管理状況等について立入検査を行った。	7. 'A	  保安業務の実施(水路及び排水路の維持・管理)について指導した。
11月27日 12月11日	非金属	休止 稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、乗債場の保守官理が沈寺について立入検査を行うた。   鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に		休女未務の美施(小路及び排水路の維持・管理/について指導した。  保安業務の実施(ダンプトラックのベッセルを上げた状態での駐車、保安管理体制の変更、現況調査
12月11日	非並偶	1多1丁		个迪	休女素務の美胞(タブプトプックのペッセルを上げた状態での駐車、休女官理体制の変更、現沈調査  の実施)について指導した。
			計画し、その和末が床女成性に及びされる体制となっているが、床女成性及び鉱業工使用する工作物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。		の夫他パング・で相等した。
12月12日	石油・天然ガス	玻行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、現況調査により判明した保安を害する要因を鉱業権者が適正に	適	
127120	山川 人派バス	13/11	評価し、その結果が保安規程に反映される体制となっているか、保安規程及び鉱業上使用する工作		
			物等の技術基準が遵守されているかについて立入検査を行った。		
12月12日~12月13日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、集積場の保守管理状況等について立入検査を行った。	不適	  保安業務の実施(集積場及び場内水排除施設の維持・管理)及び法令手続き(工事計画の変更届)
,,	727	10013	The second of th	~=	について指導した。
12月12日~12月13日	石油・天然ガス	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、集積場の保守管理状況等について立入検査を行った。	不適	保安業務の実施(休止坑井の廃坑措置、鉱業廃棄物の処理)について指導した。
12月15日~12月16日	金属	休止	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	不適	保安業務の実施(坑廃水の処理)について指導した。
1月29日~1月31日	金属	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの排水が基準に適合しているか立入検査を行った。	適	
			鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱山からの鉱煙が基準に適合しているか立入検査を行った。		
2月13日~2月14日	石灰石	稼行	鉱山保安法第47条第1項に基づき、鉱業廃棄物の処理状況等について立入検査を行った。	適	

## 注1:操業状態の区分は、次のとおり。

稼行:鉱業法に基づき鉱業が行われているもの。 休止:鉱業法に基づき事業休止認可を受けたもの。 廃止:鉱業法に基づき鉱業権が消滅したもの。

## 注2:結果の区分は、次のとおり。

不適:鉱山保安法令に不適合等である事項が認められた検査等の結果。 適:「不適」以外の検査等の結果。